



ザンビアの経済概況・月報(2019年8月)

主なマクロ経済指標	2018年	2019年
1. 人口 (百万人)	17.35	-
2. 人口増加率 (%)	2.9	-
3. 失業率 (%)	41.8 (Q3)	41.8 (2018, Q3)
4. 平均寿命 (年齢)	51.4(男性)/54.7(女性) (est)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	26,720	-
6. GDP成長率 (%)	3.8	3.6 (proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,430	-
8. インフレ率 (%)	7.9 (Dec)	9.3 (Aug)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	216.99 (Dec)	231.27 (Aug)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	-438.39	104.51*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	109.86*4	50.33*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	9,059.36	4,385.13*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	168.30*4	78.17*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	9,497.75	4,280.62*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	58.44*4	27.84*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-1,006 (2017, est)	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	-149 (2017)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,091(2017)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	1,590 (est)	1,402 (June)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	10,050 (Dec)	10,230 (June)
21. 為替レート (対米ドル)	10.45ZMW	13.03 ZMW (Aug)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	9.75 (Nov)	10.25 (Aug)

*1) 内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 *2) 小数点第3位以下四捨五入

*1 GDP at market prices (Current USD)
*2 2019年1月から7月までの貿易額。1USD=12.46ZMW (2019年7月までのザンビア中央銀行為替相場月平均を用いて換算)
*3 2019年1月から7月までの貿易額。1USD=111円 (2019年7月までの日銀基準外国為替相場月平均を用いて換算)
<2019年7月>
主要輸出品目: 電解精錬用の銅陽極/エレクトロウオン銅陰極/粗銅/硫酸/発煙硫酸/セメント/甘蔗糖
主要貿易相手国(輸出): スイス 39.0%, 中国 16.7%, コンゴ(民) 14.3%, シンガポール 10.7%, ケニア 2.3%, その他 17.0%
主要輸入品目: 石油/内燃機関用燃料/軽油/硫黄/医薬品
主要貿易相手国(輸入): 南ア 32.7%, 中国 13.1%, アラブ首長国連邦 11.5%, インド 4.4%, タンザニア 3.6%, その他 34.7%
*4 1USD=110円 (2018年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
<出典>
1, 2, 5-7, 20: World Bank / 3: Zambia Labour Force Survey Report, (CSO & Ministry of Labour and Social Security) / 4, 16: The World Factbook (CIA) / 8, 9, 10, 12, 14: Monthly Bulletin (CSO) & EIU Country Report / 19, 21: Country Report (EIU) / 11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計 / 17, 18: UNCTAD / 21, 22: Bank of Zambia

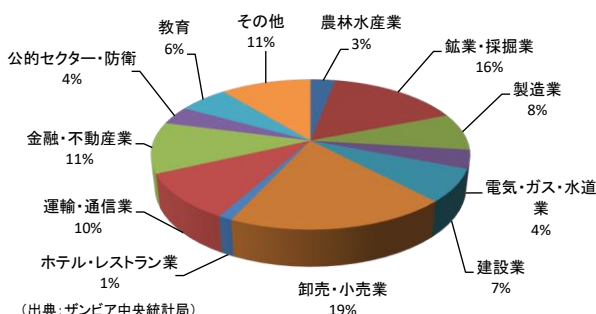
<ザンビアの税制度 ~ 鉱業関連 ~>

(出典: ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
5.5-10% (ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎に、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

* 鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要な全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

GDPセクター別構成(2019年第1四半期)



主要な経済ニュース(8月)

1. 政府、売上税法案を取り下げる(Daily Nation, 3日)

2日、ンガンドゥ財務大臣は、さらなる改善を加えるため、売上税法案を取り下げる動議を国会に提出し、同税制の実施は2020年1月に延期された。同税制は、国会の今会期から取り下げられ、予算会議期間中に再提出される予定である。ンガンドゥ財務大臣は、「これにより、売上税実施に関する協議において関係者から表された懸念に対処する十分な時間ができ、企業にとっても適応する余裕ができる」と述べた。

2. ザンビア、SDGs地域センターの1ヶ所目を設立(Daily Mail, 8日)

ルング大統領は、7日にムルングシ国際会議場で開催されたSDGs南部アフリカ地域センターの開所式において、様々な課題に対処するため、アフリカが現地発祥(home-grown)の解決策を取り入れる時が来たと言った。アフリカ大陸の5ヶ所に設立される地域センターの1ヶ所目として設立されたこのSDGs南部アフリカ地域センターは、加盟国の能力を開発し、アイデアを共有する場として機能することにより、SDGs達成に向けた発展を促進させることになろう。2016年にキガリにSDGsセンターを創設したカガメルワンダ大統領は、SDGs地域センターの立ち上げに際し、迅速に反応したザンビアを評価した。また、ムブンバ・ナミビア副大統領は、SDGsを制度化することは、目標の達成にとって最良の方法であると述べた。

3. ンガンドゥ財務大臣、アフリカ開発銀行が提供する7億5千万米ドルの融資制度活用を呼びかける(Daily Mail, 8日)

ンガンドゥ財務大臣は、民間企業に対し、成長を維持し、競争力を高めるため、アフリカ開発銀行が提供する7億5千万米ドルの融資制度を活用するよう呼びかけた。ンガンドゥ財務大臣は同銀行に対し、中小企業が融資へのアクセスを始められるよう、政府は内部調整を迅速に終わらせることを約束した。

4. 観光税、830万クワチャに上る(Daily Mail, 12日)

観光芸術省は、今年1月から現在まで、観光税として830万クワチャを徴収した。シクウェラ観光芸術次官は、観光客の増加を背景として、今年の同税収は、目標である1千380万クワチャを上回っているのではないかと述べた。また、同次官は、もし効率的に活用された場合、観光セクターは、経済成長、雇用創出及び地方開発に多大に貢献する可能性があると言った。

5. 政府、2020年国家予算案に向けた協議を呼びかける(Daily Mail, 15日)

ンガンドゥ財務大臣は、民間セクター及び国民に対し、2020年国家予算にかかる、政府が提案する税及びその他の歳入措置に意見するよう呼びかけた。ンガンドゥ財務大臣は、2020年国家予算は近々発表されるため、ビジネスコミュニティ及び国民からの反応を期待していると述べた。

6. ザンビアと豊田通商、太陽光発電にかかる合意を締結(Times of Zambia, 29日)

ザンビア政府と豊田通商は、電力不足を緩和するため、西部州における100メガワットの太陽光発電事業の開発及び実施にかかる覚書を署名した。豊田通商及び同社の実施機関であるエジプトのEl Sewedy Electric社は、西部州のセシエケ及びモングにそれぞれ50メガワットの発電所を建設する。ルング大統領は、TICAD7の一環として28日に横浜で実施されたこの署名式に立ち会った。

7. 日本、ザンビアの債務管理を支援(Daily Mail, 31日)

安倍総理は30日、ルング大統領と会談した際、日本は、債務持続可能性確保に向けたザンビアの努力を支援するため、財務省に専門家を派遣したと述べた。ルング大統領は、教育、保健、水衛生、交通、エネルギー、難民及び元難民の支援、農業、水産、インフラ、スポーツ及び民間企業開発等における日本からの協力を謝意を示した。